

(様式第4号)

審議会等付属機関 会議概要

1	審議会名	第5回上田市行財政改革推進委員会
2	日 時	平成20年12月10日(水) 午後3時から午後5時まで
3	会 場	丸子地域自治センター 3階 第1会議室
4	出席者	小池会長、宮沢副会長、武井部会長、三井部会長、鬼頭副部会長、田中副部会長、 斉藤委員、櫻井委員、塩入委員、南雲委員、西沢委員、堀内委員、森田委員、 宮下委員 【欠席】高橋委員
6	市出席者	金子行政改革推進室長、鎌原係長、平田主任
7	公開・非公開等の別	公開
8	傍聴者	0人 記者 0人
9	会議概要作成年月日	平成20年12月15日

協議事項等

1 開 会

2 議事

(1) 前回の会議録の確認について

(事務局) <前回の会議概要を説明。>

会議録を確認いただき、訂正等あれば訂正後、ホームページで公開する。

(2) 意見書(案)の審議

(会 長) 本日の会議は、これまでの部会審議のとりまとめを行い、部会審議の内容を確認しながら、意見書を完成させていきたい。部会審議を振り返り、自分の意見が反映されているか、内容が間違っていないかなどを確認したい。

(委 員) 文中、「将来的に…」という表現があるが、遠い未来を指しているようなイメージであるため、具体的に「 年までに…」という表現はできないか。

(委 員) 意見書として提出するものなので、審議会として期限を設定するのではなく、行政が目標年度として設定するほうが自然であると考えます。

(委 員) 地域振興部門の役割の表記について、本文と添付資料で表現が異なっているため、統一を図ったほうが良いと思われる。現在の組織・機能に合わせた形で表記すべき。

(事務局) 現在の組織形態に合わせた表記に改める。

(委 員) 添付資料にある「スタッフ職の配置」について、本文に記載がないので、本文に記載したほうが良い。また、添付資料には、あまり細かい部分まで表記しなくても良いのではないか。

(事務局) 添付資料はシンプルにし、本文に「スタッフ職の配置」について記載する。

(委 員) 地域協議会のあり方について、「委員構成のルール化」とあるが、委員構成を固定化することにより、地域の特色がなくなってしまうのではないか。

(事務局) ルール化とあるのは、委員選考に当たり、特定の分野に委員が偏らず、多種多様な分野から委員になってもらえるよう、一定の考え方を示すことを意味している。型にはめるということではない。

(委 員) そういうことであれば、別の表現を用いたほうが良いと思う。

(事務局) 了解。

(委 員) 地域協議会のあり方の中で、最初に出てくるのが「自治会の役割の明確化」となっており、地域協議会についての項目よりも先に出てきている。まず、地域協議会の事を先に記載して、自治会の表記はその後ろに持ってくるか、又は、地域協議会の文の中に吸収するなどしたほうが良いと思う。

(事務局) 了解。

(委員) 総合支所機能の強化には添付資料がありイメージができるが、地域協議会にはイメージ図がない。地域協議会のあり方についてもイメージ図を付けられないか。

(事務局) 将来的に設置されると思われる「新たな住民自治組織」や地域協議会の将来像が確定していない状況では、図にすることは難しいと考える。

(委員) 部分的にイメージ図として表すことは可能と思われるが、全体像として表すことは困難と思われる。

(委員) その他意見の「外国籍市民との協働」について、地域内分権の推進にどのように関わってくるのか。

(委員) 現在は、外国籍市民の意見が直接行政に反映させる仕組みがない状況であるが、外国籍市民もまちづくりの一員として、地域協議会に意見を言えるような仕組みを作る必要があると考え、将来的なまちづくりを担う外国籍市民との協働についても、記載したほうが良いと思われるため、その他意見として記載してもらっている。

(委員) 「協働」という表現を用いると、まちづくり組織と外国籍市民のグループが協力してまちづくりを行うイメージがあるため、「多文化共生」という表現を用いてみてはどうか。

(委員) タイトルとして、「外国籍市民との協働について」を、「多文化共生事業への取組みについて」と改めたらどうか。

<了承>

(会長) 色々ご意見をお出しいただいたので、これらをまとめ、次回、最終確認を行った後、市長に意見書として提出したい。

(3) 次回の予定

・12月19日(金) 15時30分から 上田市役所 本庁舎 3階 第1応接室

3 閉会

* 会議概要は原則として公開します。会議終了後、1週間以内に行政改革推進室へ提出してください。

* 非公開及び一部非公開としたものについては、その理由を記載してください。